

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和5年度)

調査表

施設名	県立農業大学校農業総合研修センター及び宮崎県農業科学公園
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日(5年間)
県所管部課	農政水産部農村振興局担い手農地対策課

1 施設利用状況

指標	R5	R4	R3	増減理由等
研修実績(延べ人数)	12,244	11,644	8,091	昨年度の実績と比較して、全ての指標で増加した。要因としては、新型コロナが5類感染症に移行し、県民の行動制限がなくなったこと及びイベントが通常開催されるようになったことが考えられる。
研修宿泊者数(延べ人数)	1,351	927	1,703	
農業科学公園入園者数	145,224	119,766	93,970	
農業科学館入館者数	19,574	18,560	8,869	
コメント	行動制限がなくなったことで、実績は上向きになってきている。コロナ禍以前の水準まで実績が回復するように引き続き利用拡大に向けた取組が必要である。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R5	R4	R3	支出	R5	R4	R3
指定管理料	69,487	69,487	69,487	人件費	52,692	51,717	52,072
利用料金	905	736	1,054	光熱水費	10,079	12,517	11,142
生産物売払収入	21,297	25,129	21,995	事務費	9,216	10,737	9,197
その他収入	180	42	8	その他	19,842	20,336	20,108
合計(①)	91,869	95,394	92,544	合計(②)	91,829	95,307	92,519
収支差額(①-②)	40	87	25				
コメント	効率的な運用や費用の削減努力により、安定的な運営を行っており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和5年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	研修センター事務室の日常清掃及び年1回の床面ワックスがけ、農業科学館・管理棟・ふれあい体験館・物産館・フラワーハウスの床面及び窓ガラス清掃、農業科学館雨樋清掃等
	保守・点検	浴槽水質検査(年3回)、貯湯槽水質検査(年1回)、重油地下貯蔵タンク(年1回)、除草・芝刈り(年6回以上)、高木の枝剪定、ビニールハウス自動開閉装置動作点検(年1回)、環境制御システム動作点検(年1回)、ハウス用加湿機動作確認等(年1回)、ウォーターランド保守管理等
	警備	(県立農業大学校による警備)
	修繕	公園遊具、ハウスビニール張替、花壇のL字縁石及び障がい者用トイレの補修、ウォーターランド薬注入器ポンプの取替え等
	備品等管理	農業機械(トラクター、運搬車)部品交換・修理
	安全対策	危機管理マニュアルの整備、消防訓練の実施、土日祝日の公園職員複数勤務体制、公園遊具点検(年1回)、浴室・浴槽等衛生管理マニュアルの整備
	その他	公園全体の植栽管理(芝生、花壇、樹木等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート、農業総合研修センターの休日利用や農業体験休日受入への対応
	イベント等ソフト面充実	検温、消毒液の設置など感染症対策の実施、ホームページ・facebookによるPR、農業科学公園ルピナス通信発行等
	施設設備等ハード面充実	みやざき農業実践塾ハウスへの環境測定機器の導入
	その他	-
管理運営体制	緊急連絡網の整備	
コメント	リカレント研修ではオンラインを活用し、受講者の確保に努めている。また、みやざき農業実践塾の運営等に精力的に取り組んでおり、就農者の確保につなげている。公園については季節ごとに適切な植栽管理がされており、イベントを開催する際には、地域や関係者と連携するとともに、プレスリリースやSNS等で周知するなど集客に向けた工夫をしている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(リカレント研修10講座(計446人)で実施(回答417人)、宿泊利用者486人に実施(回答80人))	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
(宿泊に関して)料金も手頃で利用しやすかった。予定変更にも柔軟に対応してくれた。	今後も利用者が快適に宿泊できるよう適切な管理運営に努める。	
(宿泊に関して)女子風呂の扇風機が壊れている。風呂のシャワーの温度が安定しない。部屋のブラインドの開閉が上手くできなかった。	浴場の改修は順次実施予定。設備の不具合や備品調達予算の範囲内で対応していく。調達できるものは、修繕、購入する。	
(リカレント研修に関して)すべて重要な内容の講義であるが、進み具合が早すぎる。15分くらいは質疑応答の時間を設けてほしい。	講師との打合せを通じて、適切な研修内容及び時間配分になるよう努める。	

5 総合評価

評価コメント	指定管理通算9年目であり、安定的な運営が行われ、農業の普及啓発や新規就農者の育成、イベントの開催を精力的に行っている。また、施設の利用促進や安全管理などに適切に取り組んでいる。
今後の課題と対応	施設や農業用機械等の老朽化が進んでいることから、日常のメンテナンスなど引き続き安全対策を重点的に行う。農業科学館の入館者増加に向けた取組の検討を行う。